

偶数月に掲載

図書室発 → あなた行き



中央公民館図書室だよ

おうち時間に読み聞かせはいかがですか？



新型コロナウイルス感染症の影響により、ご自宅で過ごす時間が増えている方が多いと思いますが、小さいお子さんがいるご家庭での「おうち時間」の過ごし方として本の読み聞かせは、いかがでしょうか。

読み聞かせをしている間、子どもは絵本の世界を想像し、その想像の中でさまざまな体験をし、ことばを覚える機会にもなります。

また、親のぬくもりを感じながら絵本に接し、共感しあうひとときは、子どもの感性や心を豊かにする貴重な時間となります。

読み聞かせ用の絵本は、中央公民館図書室で借りることができますので、ぜひご利用ください。

0～2歳ごろの読み聞かせ → 音やリズムを楽しみましょう

この時期のおすすめは、子どもの好きなもの、身近な動物や植物が載っている絵本、ことばや音の繰り返しがある絵本などです。

2～6歳ごろの読み聞かせ → ことばやジャンルを広げましょう

文字を覚えはじめても、読み聞かせを続けることは、大切です。子どもは繰り返しが大好きなので、気に入った絵本や場面は何度でも読みましょう。

この時期のおすすめは、昔話や童話、科学絵本、生き物図鑑などです。

新刊情報

(4月の新刊)

- ◎コロナとバカ ビートたけし
- ◎おばんでございます 桜木 柴乃
- ◎花下に舞う あさの あつこ
- ◎南紀殺人事件 内田 康夫
- ◎落葉の記 勝目 梓

(5月の新刊)

- ◎歴史探偵 忘れ残りの記 半藤 一利
- ◎田中家の三十二万石 岩井 三四二
- ◎主権者のいない国 白井 聡
- ◎「違和感」の日本史 本郷 和人
- ◎赤の呪縛 堂場 舜一